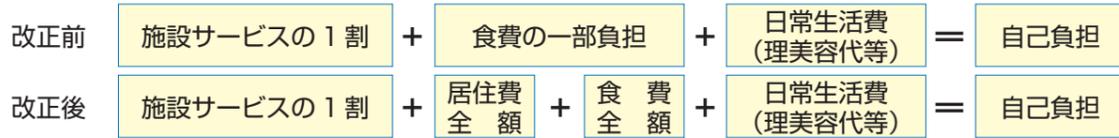


10月から介護保険施設の利用者負担が改正されます。

～「居住費」と「食費」は、自己負担になります～

●対象となる施設およびサービス

- 介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設の居住費と食費
- 短期入所生活介護、短期入所療養介護の居住費と食費
- 通所介護と通所リハビリテーションの食費



低所得の人の施設利用が困難とならないように、一定額以上は保険給付されます。所得に応じた負担限度額までを自己負担し、残りの基準費用額（所得の低いかに特定入所者介護サービス費を適用する場合に基準となる平均的な費用額）との差額は介護保険から給付されます。

特定入所者介護サービス費

平成17年8月15日現在

| ※この表に記載されている金額以外に施設サービス費の1割が自己負担となります。 | 負担限度額 | | | |
|--|-------|-------|-------|-------|
| | 居住費 | | | 食費 |
| 対象者：軽減される段階に該当する人 | 従来型個室 | 準個室 | 多床室 | |
| 第1段階の人（生活保護受給者など） | 1.0万円 | 1.5万円 | 0万円 | 1.0万円 |
| 第2段階の人（市民税非課税世帯者で年金額が80万円以下の人） | 1.3万円 | 1.5万円 | 1.0万円 | 1.2万円 |
| 第3段階の人（市民税非課税世帯者で年金額が80万円を超え266万円以下の人） | 2.5万円 | 4.0万円 | 1.0万円 | 2.0万円 |
| 年金額が266万円を超えるかたは施設との契約により目安として下記のとおり設定されます。ただし、施設によっては日常生活費、特別な室料（特別な食費）がかかる場合があります。 | 3.5万円 | 5.0万円 | 1.0万円 | 4.2万円 |

問 健康長寿課（☎内線131・132・133）

平成16年度 水道事業会計事業報告

毎年良質で低廉な水道水の安定供給を図りながら勝山市水道事業の健全経営に努めておりますが、本年度は損失を計上する結果となりました。収入の主である水道料金収入においては、夏季の猛暑のため昨年より微増となりました。一方支出においては、事務諸経費等の削減に努めてまいりましたが、施設の修繕等が増え、経営は厳しい状況が続くものと考えられます。

拡張事業

本年度は浄土寺川ダム負担金、取水施設に至る管理道路の整備および勝山・丸岡線若猪野地係において配水管布設工事を行いました。この事業にかかる事業費は8121万4千円となり、うち水道水源開発施設整備事業浄土寺川ダム負担金は7187万2千円（前年度繰越分896万円、当該年度分6291万2千円）となりました。

改良事業

改良事業費は1955万6千円で、若猪野水源第1号ポンプ取替、立川

水源池、笹尾ポンプ場、赤尾配水池の水道施設遠方監視装置が故障のため修繕を行いました。

給水事業

本年度の総配水量は2924千立方メートル（前年度比2.75%増）、1日最大配水量は平成17年2月1日に記録された14080立方メートル（前年度比3.23%増）、年間有効水量は2517千立方メートル（前年度比0.92%増）の実績となりました。有効水量増加の要因は夏の猛暑の影響によるものと考えられます。

財政状況

総事業収益3億2751万2千円、事業費用は3億4508万3千円、この結果当年度は純損失1757万1千円を計上する結果となり、その補てんに利益積立金を充てました。また、資本的収入においては企業債を含めて8143万4千円、建設改良費や企業債償還金などの資本的支出の合計額は1億9622万5千円とな

り、収入額が支出額に対して不足する額は、当年度分損益勘定留保資金で補てんしました。

詳細については、決算書を勝山市立図書館に備えてありますのでご覧ください。

上水道業務状況

| 項目 | 業務量 | 前年度比 |
|---------|-------------------------|---------|
| 給水人口 | 22,000人 | -1.31% |
| 給水戸数 | 6,431戸 | +0.45% |
| 年間総配水量 | 2,924,392m ³ | +2.75% |
| 年間有効水量 | 2,517,121m ³ | +0.92% |
| 有収率 | 86.07% | -1.56% |
| 導送配水管延長 | 261,583.4m | +28.38% |

延長増は、平泉寺第二地区営農雑用水施設等を無償譲受をしたため

市民対話集会

一市政について活発に意見交換！
これからの勝山について市民のみならずと市が意見交換する「市民対話集会」が8月30日、福祉健康センター「すこやか」で開かれました。
当日は、約100人が会場に集まり、少子化対策や行政改革、市町村合併などについて、活発な意見交換が行われました。



参加者からは、「市独自の農業体制の育成を」、「夏祭りの盆踊りを盛り上げてほしい」などの意見も出されました。市では、市民対話集会での意見や要望を参考にさまざまな計画を進めていきます。また、市ではご希望により各種団体やグループなどを対象にした対話集会も開催しています。ぜひ、お申込ください。

○市民対話集会の開催について

とき 9月28日（水）午後7時
ところ 福祉健康センター「すこやか」
テーマ「中期財政見直しについて」
※みなさんご参加をお待ちしています。

問 未来創造課（☎内線2361）

9月は市民提案月間

「市長への手紙」を募集します
市では、9月を市民提案月間と定め、みなさんから広く市政に関するご意見をお寄せいただいています。

手紙の用紙は、本紙に折り込みされていますので、活発なご意見をお待ちしています。なお、Eメールでの受け付けもしていますので、ぜひご利用ください。
問 秘書・広報課（☎内線214）

国民文化祭・ふくい2005 News

1丁甲子園開催(8月3、7日)

先月、(財)奥越地域地場産業振興センターにおいて、1丁甲子園本選が開催されました。北海道から山口県まで全国から選ばれた10チームが勝山に集まって、「平泉寺の自然と歴史」をテーマにホームページの作成を行いました。福井県からは勝山高校と美方高校が出場しました。

当日は猛暑に見舞われましたが、出場者は滝のような汗をかきながら平泉寺の取材に駆け回っていました。杉や苔、遺跡の写真や映像はもちろんです、中には地元のかたにインタビューをして情報を集めているチームもありました。集めた素材をホームページとして表現するのは、さらに苦労したようで、全チームが独自性のある作品を目指しパソコンに向かっていました。

1丁甲子園本審査会

8月29日に勝山市教育会館で1丁甲子園本選作品の審査会が開催されました。県内の大学で1丁関係専門の先生や、ホームページ作成会社の代表のかたに審査をしていただきました。

4泊5日という大変短い時間の中で取材から作成までを手掛けたにも関わらず、審査員をうならせる作品が多く、一人一人の意見を聞きながら慎重に協議を重ねました。デザインや文章力、技術力など総合的に判断して福井県知事賞以下各賞を決定しました。

これらの作品は10月30日に開催される1丁文化フェスティバルで公開する予定です。

問 文化課（☎内線472）



猛暑の中、現地取材



出来ばえを真剣に見つめる出場者



慎重協議の結果、賞が決定